

元気です！

歌うことの
すばらしさを伝えたい

鳥取男声合唱団

若い声と熟した声が
からみ合う

六月のある晴れた日曜日、若桜町氷ノ山に力強い男たちの声が響き渡った。鳥取市内で唯一の男声合唱団「鳥取男声合唱団」によるミニコンサートだ。



活動のきっかけは四年前の

「県民による第九公演」。当時、

なかなか男声パートが集まらな

かったことから、今後の演奏会

などでのパート集めに役立てば

と、出演した男声パート十数人

が中心となり結成された。現在

では、約七十人の団員が在籍。

年齢は、十代から七十代まで、

職業も学生、公務員、会社員、

医師などさまざまな人々が集ま

っている。男声合唱団は、大学

などの卒業生などで組織される

のが一般的。このように一般募

集で結成されるのは、全国的に

もめずらしいという。

指揮・指導を担当する土井さ

んは言う。「年齢に幅がある分、

若い声と熟した声からみ合う

て、より合唱の厚みが増すんで

す」。メンバー内の雰囲気も良

く、そのことが音にも現れてい

るとのこと。「飲み会も楽しみ

の一つです」。事務局長を務め

る山根さんの言葉に土井さんも

うなずく。

力強さと繊細さの
バランス

鳥取男声合唱団がめざすの

は、「聴く人誰にでも受け入れ

てもらえるような音づくり」。

定期的な練習は、月二回二時間

程度と少ない。しかし、それだ

けに練習の密度は濃い。「私の

指導は結構厳しいと思います」

と土井さんは笑う。メンバーの

ほとんどは、専門的な音楽知識

のない人たち。しかし、みんな

向上心が旺盛で、年々レベルが

上がってきている。土井さんの

専門的な指導に対応する能力も

かなりついてきた。また、メン

バーに加わっている西岡千秋さ

ん、新倉健さんら音楽家の存在

も心強く、さまざまな面で助け

られているとのこと。

実際に歌声を聴くと、まずそ

の力強さ、迫力に驚かされる。

圧倒的な存在感だ。「女性から

は音がきれいだという感想をよ

く聞きます」と山根さん。なる

ほど、たしかに力強さだけでは

なく繊細さも併せ持っていて、

それが絶妙のバランスのうえに

成り立っている。メンバーの一

人、吉多さんは「ハーモニーが

ぴったり合った瞬間が気持ちい

いんです」と語る。曲目も一般

県内各地で演奏も

的な男声組曲から、民謡、歌謡
曲まで実に幅広い。

病院や小学校などでの演奏な

ど、地道な活動で着実にファン

が増えている。昨年は、記念す

べき第一回定期演奏会を開催。

アマチュア合唱団としては異例

の千三百人余りの観客を動員し

た。今年の秋に開催される国民

文化祭では、オープニングフェ

スティバルへの出演も決まっ

っており、メンバー一同練習にも気

合いが入る。

土井さんに、これからのこと

を聞いてみた。「団員を百人ぐ

らいまで増やしたいですね」一

人ひとりが無理に大きな声を出

さなくても良く、リラククスで

きる。そのことでより良い声が出

るのだそうだ。いずれは県内

各地のホールなどを回る演奏旅

行も、ぜひ実現させたいとのこ

と。

「夢はヨーロッパ演奏旅行で

す」。これからも、男声合唱の

迫力、歌うことのすばらしさを

伝えていく。

鳥取男声合唱団では団員を募集
しています。

問い合わせ先 事務局（0
858722981）